

平成20年度川根本町の
決算状況を報告します

一般会計と7つの特別会計を合わせた1年間の決算は、歳入総額が85億760万円、歳出総額が80億5,308万円となりました。

一般会計では、歳入総額59億1,586万円、歳出総額55億9,488万円、差引残額の3億2,098万円となり、そのうちの1億5,000万円を財政調整基金に積立て1億7,098万円が、平成21年度への繰越金となりました。

平成20年度は、国の補正予算関係により、地域活性化事業、定額給付金給付事業など4億2,139万円の事業が平成21年度に繰り越してなっています。

事業の実施では、国県などの補助金を活用し、限られた一般財源の節約に努めました。今後も、将来負担の軽減を考慮し、行政改革集中プランの推進により健全な財政運営を

平成20年度

決算報告

行政改革集中改革プランによる経費節減や、県合併交付金、合併特別債、過疎対策事業債など有利な財源を活用し、「持続可能」な経営を目指しました。定住交流人口増加のための住環境整備、簡易水道の整備および健康・福祉サービスの充実など、住みやすい環境づくりを心がけ整備を推進しました。

目指していきます。

一般会計歳入の総額は 59億1586万円

歳入総額は、59億1,586万円（前年度対比0.9増）です。自主財源の額は19億2,853万円【8,762万円増】で、町税は長島ダム

の交付率アップにより14億4,307万円【1億2,009万円増】となり、全体の24.4割を占めています。地方交付税は合併の特別加算がなくなりりましたが、普通交付税の増加により25億2,885万円【3,342万円増】で42.7割となりました。

国庫支出金については、1億7,502万円【△6,664万円】、県支出金は、4億9,397万円【△6,983

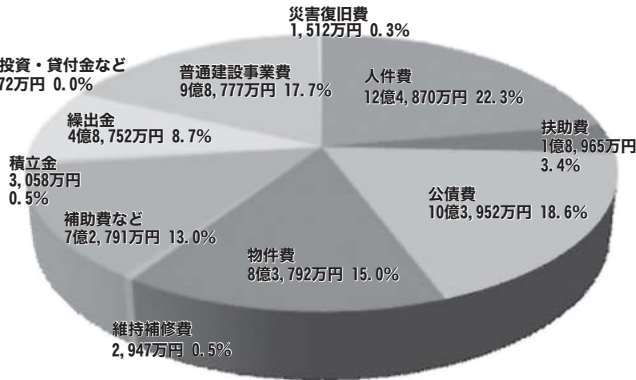
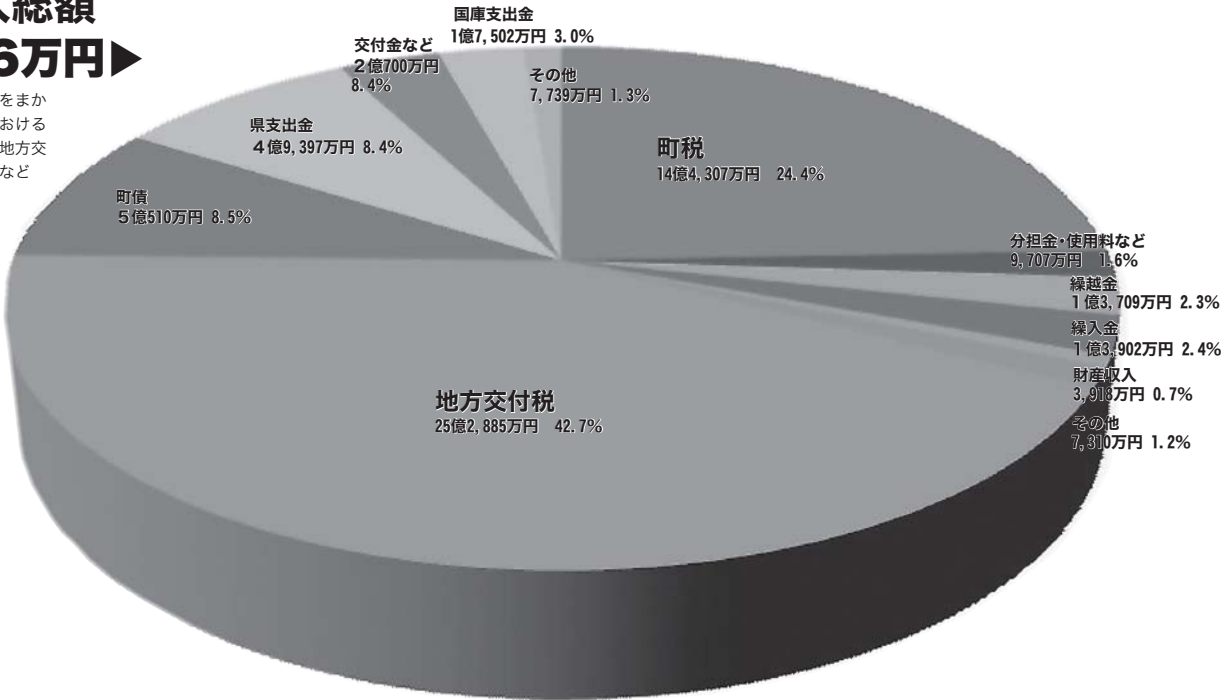
万円】となり、全体の24.4割を占めています。地方交付税、国・県支出金、町債などの依存財源が67.4割（前年68.6割）と、前年度と同程度の割合であり、依存財源に頼っている状況は変わりません。

一般会計歳入の総額は 59億1586万円

歳入総額は、59億9,488万円【前年度対比2.3割減】です。合併後3年間、限られた財源の中で、行政改革集中改革プランによる経費節減や、県合併交付金や合併特

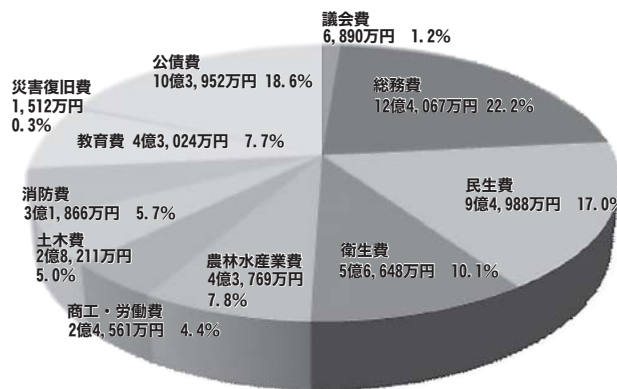
一般会計歳入総額 59億1,586万円

町が仕事をするために必要な経費をまかなうもの。川根本町の会計年度における一切の収入のことをいう。町税、地方交付税、町債、国庫支出金、繰入金など
自主財源▷19億2,853万円 32.6%
依存財源▷39億8,733万円 67.4%



一般会計歳出性質別 55億9,488万円

町の経理を性質別に分類したもの。義務的経費（人件費、扶助費、公債費）を含む、経常的経費（物件費、維持補修費など）、投資的経費（道路や公共施設の建設費など行政水準の向上のための経費）、その他（一般会計と特別会計との間で相互に資金運用するための繰入金）に分類される。
経常的経費▷40億7,317万円 72.8%
その他経費▷5億1,882万円 9.2%
投資的経費▷10億289万円 18.0%



一般会計歳出目的別 55億9,488万円

町が実施する事業を目的別に分類した。行政サービスの水準や、行政の特色などが反映されている。議会費、総務費、民生費、衛生費、農林水産業費、商工労働費、教育費、土木費、公債費など

●目的別の説明
北部地域振興センターの建設、自治振興、町営バス運行などの地域振興に重点をおいた総務費が22.2割を占めています。続いて外出支援サービスなど各種福祉サービスの充実、国民健康保険事業会計などへの繰入金、子育て支援事業などの民生費が17.0割、各種検診事業など健康増進事業による町民の皆さんの健康管理、こみ・し尿処理などの生活環境経費としての衛生費は10.1割、茶業対策、農村環境基盤整備を目指した県営中山間整備事業、林道改良など生産基盤整備のための農林水産業費が7.8割を占めています。小・中学校の教育振興スクールバスの更新などの教育環境整備、生涯学習の推進を重点とした教育費が7.7割となっています。

●性質別
普通建設費は、9億8,777万円【△3,977万円】で、前年度対比△3.9割となり全体の17.7割となりました。

●性質別
普通建設費は、9億8,777万円【△3,977万円】で、前年度対比△3.9割となり全体の17.7割となりました。

●性質別
普通建設費は、9億8,777万円【△3,977万円】で、前年度対比△3.9割となり全体の17.7割となりました。

一人当たりの税額	
町民税	45,653円
固定資産税	112,559円
軽自動車税	2,307円
町たばこ税	3,325円
入湯税	928円
合計	164,772円

一人当たりの決算額	
議会費	7,867円
総務費	141,661円
民生費	108,459円
衛生費	64,681円
商工労働費	28,044円
農林水産業費	49,976円
土木費	32,212円
消防費	36,385円
教育費	49,125円
災害復旧費	1,726円
公債費	118,694円
合計	638,830円

一般会計決算額を平成21年3月31日現在の人口8,758人で割った額です

都市と農山村交流シンポジウム



北部地域振興センター



子育て支援施設



ここにも、一つの物語。
広報かわねほんちょう